

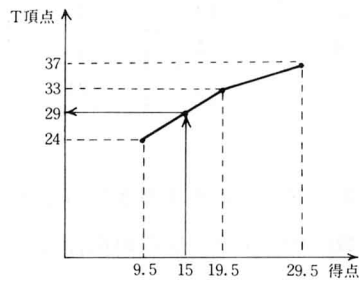
す。

- (5) 累積相対度数の欄の数値は、(表8)との関連で、2%~98%までは、整数値で求めておきます。

例えば、 $\frac{53}{243} \times 100 = 22$ とします。

- (6) (表8)より、累積相対度数22%に対応するT得点は42であることを読みとり、T得点の欄に記入します。他の累積相対度数についても、同様です。

- (7) 表の(2)と(6)の欄の対応から、得点9.5のT得点は24、得点19.5のT得点は33となっていますから、これを用いて、9.5点から19.5点までの間の得点のT得点を求めることを考えます。



1 mm方眼のグラフ用紙に、縦軸、横軸をとり、縦軸にT得点を、横軸に得点の目盛りをとります。

この用紙上に、2点

(9.5, 24), (19.5, 33) をとり、

この2点を結ぶ線分をひきます。

この線分を用いて、例えば得点15点

に対するT得点は、ほぼ29点であることを読みとります。

同様にして、得点19.5から29.5までの間のT得点は、2点 (19.5, 33) (29.5, 37) を結ぶ線分を用いて求めます。以下同様です。

この例では、得点が10点幅のところを線分で近似し、この線分を用いて、この間の得点に対するT得点の近似値を求めています。得点の幅をもっとせまくとれば、もっと良いT得点の近似値が得られるでしょう。

(1)で、階級の数、できるだけ多い方がよい、と書いたのは、この意味であったのです。

なお、得点90以上のT得点は、2点 (79.5, 66), (89.5, 73) を結ぶ線分を延長して求めることとなりますが、精度が悪くなるのはやむを得ません。